



2018年1月9日

# 国際教育通信

明星中学校・高等学校 国際教育部

第5号

## セブ島 語学留学プログラム 現地レポート (学校交流編)

2月12日13日の両日にわたって明星中学校3年生とSt. Theresa's College of Cebu (STC)の高校1年生の交流イベントが開催されました。STCはセブシティにある、幼稚園から大学までを擁する私立の一貫校で、その歴史も今年で85年(1933年6月1日設立)となる明星学苑に似た学校です。交流イベントにおいては、先生方の挨拶、代表生徒の挨拶に始まり、セブ伝統舞踊「シヌログ」(Sinulog)の披露、明星の合唱「大地讃頌」、STCの合唱パフォーマンス“Give Love on Christmas Day”(The Jackson 5)、その後グループに分かれての情報交換(自己紹介、折り紙、書道、学校見学、カフェテ(キャンティーン)視察・試食、など)が行われました。明星の生徒たちは最初、AVルームに案内されたときはとても緊張した面持ちでしたが、STCの元気よく明るい女子生徒たちに徐々に気持ちをほぐされ、お互いに笑顔あふれる交流ができました。今回の交流が今後の明星とSTCの、ひいては日本とフィリピンの国際交流が促進される足がかりとなることを祈ります。



## 留学生のインちゃんに聞きました!!



高校2年6組 ニッチャカーン・チュンヤーノンさん タイ出身 (Nitchakan Tulyanon)

Q1 日本の印象は来日前と後で変わりましたか?

日本に来る前は、日本は涼しいだろうと思っていましたが、夏はタイと同じくらい暑いことが分かりました。一方、冬はとても寒いです。「布団」がとても温かく大好きなものの1つになりました。びっくりしたこともあります。それは「納豆」です。タイにいるとき、友達に「食べたことあるよ」と言われていたので、日本に来た時に挑戦してみようと思いました。が、、、やはりおいしくなかったです。でも、食べられるようになりたいです。



Q2 明星での生活はどうか?

とても楽しいです。例えば、友達とたくさんしゃべることだったり、日本の遊びを教えてもらったりすることが楽しいです。女の子たちがよくやる「手遊び」(例えば「アルプス一万尺」)!最初はゆっくり教えてくれるのですが、だんだんスピードアップしていきます。とてもじゃないですが、ついていけません(笑)。ダンス部に入部できたことも楽しみ1つです。また、沖縄の修学旅行もとてもいい思い出になりました。海もきれいだし、日本が経験した戦争のことも学ぶことができました。あと、お弁当もとても「楽しい」です。

Q3 将来の夢は?

将来は通訳になりたいです。タイ語以外に、今までに学んだ言語は英語、日本語、中国語(北京語)ですが、タイと日本、あるいはほかの国々にまたがる架け橋として活躍したいと思います。また、私も私の家族もみんな、とても旅行が好きなので、家族のために自分いろいろ南国を案内してあげたいです。



メッセージ

みなさんには本当に感謝しています。ありがとう。みんながフレンドリーに接してくれたり優しく声掛けしてくれたので、とてもシャイだった私も明星高校の一員になることができました。みんなのおかげで今、ここ明星で最高の日々を過ごすことができます。これからもよろしくお願いします。

## 学苑行事カレンダー 今後の国際に関する行事の日程をご案内します

- ◆高1～高2 ターム留学(1月～3月)
- ◆高1 ヤングアメリカンズ 1 DAY(2月) @メインアリーナ
- ◆中2 ヤングアメリカンズ 3 DAYS(2月) @児玉九十記念講堂
- ☆【一般】小1～高3(希望者) 3 DAYS(2月) @児玉九十記念講堂
- ◆(次年度) 語学留学合同説明会(4月下旬開催予定)

## Wise saying (金言)

“There is nothing either good or bad, but thinking makes it so.”

—Hamlet. II. ii. 249-250



「いいも悪いも本人の考え次第。」(小田島雄志訳)